

パラメータ名	機能設定内容
configUSE_PREEMPTION	1: プリエンプティブ型で使う指定 0: 協調型で使う指定
configUSE_PORT_OPTIMISED_TASK_SELECTION	1: 次に実行するタスク選択をカスタム方式にする 0: 通常の方法にする
configUSE_TICKLESS_IDLE	1: Tickを使わず低消費電力にする 0: 常時Tick割り込みを使う
configCPU_CLOCK_HZ	CPUのクロック周波数をHz単位で設定 タイマの周波数設定に使われる
configTICK_RATE_HZ	Tickの割り込み周期を指定、1秒間の回数で指定 1000なら1msecとなる
configMAX_PRIORITY	タスクに設定できる優先順位の数の指定
configMINIMAL_STACK_SIZE	アイドルタスクが使用するスタックのサイズ(バイト) 128バイト以上にすること
configSUPPORT_DYNAMIC_ALLOCATION	1: ヒープ領域を使う (デフォルト) 0: アプリ領域を使う
configSUPPORT_STATIC_ALLOCATION	1: ユーザーアプリ領域を使う 0: ヒープ領域を使う (デフォルト)
configTOTAL_HEAP_SIZE	RTOSに開放するRAMの合計サイズ (バイト) スタック用などに使われる
configMAX_TASK_NAME_LEN	デバッグ用に使うタスク名の最大バイト数
configUSE_16_BIT_TICKS	Tickの割り込みによるカウンタビット数 1: 16ビット 0: 32ビット
configIDLE_SHOULD_YIELD	アイドル時の状態の指定。1にするとアイドルタスクをブロックし他のタスクに移行する
configUSE_MUTEXES	1: 排他制御を含める 0: 含めない
configUSE_RECURSIVE_MUTEXES	1: 再帰的排他制御を含める 0: 含めない
configUSE_COUNTING_SEMAPHORES	1: カウンタ付きセマフォを使用する 0: 使用しない
configUSE_TASK_NOTIFICATIONS	1: タスク直接通知機能を追加する 0: 追加しない
configQUEUE_REGISTRY_SIZE	デバッグ用にキューの名前をつける機能でキューとセマフォの最大数を指定する
configUSE_QUEUE_SETS	1: Queue set機能を追加する 0: しない
configUSE_TIME_SLICING	1: タイムスライスを使う 0: 使わない
configUSE_NEWLIB_REENTRANT	1: Newlibを追加し生成タスクを再帰にする 0: しない
configUSE_TASK_FPU_SUPPORT	1: FPU機能を追加する 0: しない
configUSE_IDLE_HOOK	1: デバッグ用の機能で、アイドルに入るときにvApplicationIdleHook関数を呼び出す 0: 何もしない
configUSE_TICK_HOOK	1: デバッグ用の機能でTick割り込みの都度、vApplicationTickHook関数を呼び出す 0: 何もしない
configCHECK_FOR_STACK_OVERFLOW	0: オーバーフローは検出しない 1: 検出したらタスクを停止する 2: 16バイト以下になったらvApplicationStackOverflowHook()関数を呼び出す
configUSE_MALLOC_FAILED_HOOK	1: malloc()失敗のときcApplicationMallocFailedHookを呼ぶ 0: 何もしない

configGENERATE_RUN_TIME_STATS	1：実行時間の収集をする 0：しない
configUSE_TRACE_FACILITY	1：デバッグ用の機能でタスク切替トレースを実行する 0：トレース機能をリンクしない
configUSE_STATS_FORMATTING_FUNCTIONS	1：v TaskList()とv TaskGetRunTimeStates ()を追加する 0：何もしない
configUSE_CO_ROUTINES	1：coroutineの機能を有効化する 0：coroutine機能を省く
configMAX_CO_ROUTINES_PRIORITIES	coroutineに使う優先順位の数を指定する
configUSE_TIMERS	1：ソフトタイマを使う 0：使わない
configTIMER_TASK_PRIORITY	ソフトタイマのタスクの優先順位を指定する
configTIMER_QUEUE_LENGTH	ソフトタイマ用コマンドのキューサイズ指定
configTIMER_TASK_STACK_DEPTH	ソフトタイマ用スタックサイズ
configUSE_DAEMON_TASK_STARTUP_HOOK	1：ソフトタイマ用HOOK関数を用意する 0：しない
configUSE_APPLICATION_TASK_TAG	タスク名を使用するかどうかの設定
configKERNEL_INTERRUPT_PRIORITY	RTOSのTickが使う割り込みレベルの指定で 最下位レベルとする
configMAX_SYSCALL_INTERRUPT_PRIORITY	RTOSが管理する割り込みレベルの最高位レベルを指定する。これ以上の 割り込みレベルはRTOSに関係なく優先処理され高速となる
INCLUDE_vTaskPrioritySet	各API関数をインクルードするかしないかの指定 1:インクルードする 0：インクルードしない
INCLUDE_uxTaskPriorityGet	
INCLUDE_vTaskDelete	
INCLUDE_vTaskSuspend	
INCLUDE_vTaskDelayUntil	
INCLUDE_vTaskDelay	
INCLUDE_xTaskGetSchedulerState	
INCLUDE_xTaskGetCurrentTaskHandle	
INCLUDE_uxTaskGetStackHighWaterMark	
INCLUDE_xTaskGetIdleTaskHandle	
INCLUDE_eTaskGetState	
INCLUDE_xTimerPendFunctionCall	
INCLUDE_xTaskAbortDelay	
INCLUDE_xTaskGetHandle	
INCLUDE_xQueueGetMutexHolder	
INCLUDE_xSemaphoreGetMutexHolder	
INCLUDE_uxTaskGetStackHighWaterMark2	
INCLUDE_xTaskResumeFromISR	